

【診療科の特色】

消化器外科(上部消化管、下部消化管、肝胆膵)および乳腺・内分泌外科領域における

- ① 高度の外科治療を行い、患者のQOL維持を含めた、“満足度の高い”医療を提供する。
 - ② 専門的技術と知識の習得に努め、高度先進医療を開発し、地域のみならず、国民の医療に貢献する。
- これらを診療基本理念として、患者さんのためにある“医療”、研究者と共に歩む“医学”、そして、若い先生たちの未来と可能性を十二分に発展させる“教育”、の三本を柱に日々精進しております。

【研修目標】

研修1年目

基本的な診療能力を身に付け、結紮や縫合手技、中心静脈確保、腹腔/胸腔穿刺など基本的な外科手技を習得することができます。将来、外科を希望しない研修医にとっても、当科における研修は、今後臨床医にとって不可欠となる全身管理、輸液管理、感染症対策、創傷処置をふくめた外科的処置など、学ぶことも多いと思います。

研修2年目

基本的診療能力向上に加えて、消化器癌や乳癌などの手術助手や周術期管理を行います。急性腹症の診断、初期治療を行い虫垂炎、胆石症、イレウス、ヘルニアなどの良性疾患を執刀医として経験します。Clinical Cadaver Surgical Training(CCST), Surgical Training Seminar (STS)やWound Closure Contest(WCC)にも参加することが可能です。



【研修医の1週間】

	午前	午後
月	手術	手術
火	術前・術後カンファレンス、外来	検査、肝臓カンファレンス
水	手術	手術、胆膵カンファレンス
木	手術	手術、消化管カンファレンス
金	術前・術後カンファレンス、外来	検査

上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺のいずれかのグループに所属し、指導医と一緒に病棟患者さんを受け持ちます。診断、治療、周術期管理、退院に至るまでチーム医療の一員として診療にあたります。

【指導医からのコメント】

山口大学附属病院では、各診療科ともに、優秀なスタッフが工夫を凝らした指導を行っており、充実した初期臨床研修が受けられます。希望そして夢を持って、飛び込んでください。是非、皆さんの若い力で山口大学を盛り上げてほしいと思います。外科は、手術を中心に診断から治療まで一貫した研修ができる達成感のある領域です。是非、私達と一緒に山口県で外科医を目指してみませんか。私達は、若い医師達が、これからの“山口”を、そして“日本”を支える外科医に育ててほしいと思っています。みなさんが、私たちの仲間になって一緒に仕事ができることを、心から楽しみにしております！

【先輩(若手医師)からのコメント】

尤 曉琳 先生 (平成 30 年卒)

いまや、日本人の 2 人に 1 人が癌になり 5 人に 1 人が癌で亡くなる時代となりました。消化器・腫瘍外科学講座では、外科治療を通じて Oncology と向き合い続けています。研修中は外科での周術期管理を通じて、癌治療そのもの、そして手術手技はもちろん、入院患者さんの病態理解・アセスメントから治療と医師としての考え方を、手を動かし、頭を働かせながら一緒に学んでいきましょう！



金城 尚樹 先生 (平成 31 年卒)

今年度から大学勤務をして感じた事は、診療をアカデミックに行っている事です。当科は主に癌治療に携わっていますが、外科医のみではなく、消化器内科や腫瘍内科とカンファレンスを重ねて治療方針を協議していきます。そして臨床研究への参加や論文作成なども積極的に行われています。教育熱心な指導医の先生が多く、大変勉強になる環境だと思います。少しでも外科に興味がある方は是非ローテートで回ってみて下さい！



【お問い合わせ先】

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

新藤 芳太郎 (助教)

Tel : 0836-22-2262

E-mail : 2geka-2@yamaguchi-u.ac.jp

Website : <http://www.yamadai-gesurgery.jp>

